

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学 校 経 営 中 期 取 組 目 標
【児童指導】 ①規範意識を高め、健全な自尊感情を育むために、道徳教育・人権教育の充実を図る。 ②子どもが主体となったあいさつ運動を通して、挨拶の大切さを自覚し、気持ちの良い挨拶をすることができる。 ③より良い学校生活を送れるように、自他の立場を考えて協力し、進んで異学年が関わり合うようにする。 【特別支援教育】 ①より確かな児童理解ができるように職員会議や学年研を工夫して組織的に情報共有や共通理解ができるようにする。 ②関係機関との連携を図り、合理的配慮やユニバーサルデザインをテーマにした職員研修を行う。 ③特別支援委員会の定期開催と内容の充実を図る。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取 組 目 標	具 体 的 取 組
豊かな心	・自分の良いところに気づき、自尊感情を高めるとともに、周囲の人を大切に思い、豊かな人間関係を築こうとする心情を育てる。	①規範意識を高め、健全な自尊感情を育むために、道徳教育・人権教育の充実を図る。 ②子どもが主体となったあいさつ運動を通して、挨拶の大切さを自覚し、気持ちの良いあいさつをすることができる。 ③より良い学校生活を送れるように、自他の立場を考えて協力し、進んで異学年が関わり合うようにする。
担当	児童指導部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

学習状況調査の生活意識調査から、自分に関することに対しては意識が高いものの、周りの人とのかわりには意識が低いことが分かった。また、YP アセスメントシートの結果から、全体的に自尊感情が低い傾向にあることが分かる。豊かな心の育成にむけて、お互いを認め合い、高め合う人間関係づくりが、重要になってきている。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 道徳教育・人権教育の充実

- ・あいさつ週間と人権週間に、挨拶と人権がテーマとなる道徳授業を1時間ずつ必ず実施する。
- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう、日々の学校生活を反映させた題材を活用する。

指針2 あいさつ運動の実践

- ・「あいさつ運動（登校後正門前で挨拶の呼びかけを、各クラス1週間実施）」を通して、あいさつの大切さを自覚し、進んであいさつができるようにする。

指針3 異学年交流を意識した、他者との関わり合いの充実

- ・遠足、運動会の行事や、学習などを通して、異学年交流を計画的に行うようにする。その際には、高学年、中学年、低学年の役割を明確にし、協力して臨めるようにすることで、学級集団だけではない異年令同士のつながりを築くようにする。
- ・代表委員会などを通して、子ども自身が、必要感をもって主体的に取り組めるような活動を学級、学校で行い、他者との関わりを自分からもとうとするようにする。